

2024年度 入学者受入れの方針に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの志ふり返り（学科／研究科専攻の入学者受入れの方針）」のデータを活用した検証です。学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については、本学ホームページ（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/dr.html>

学科・研究科専攻名 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

本専攻のアドミッションポリシーに対応する1～13の各項目について、6件法（全くそう思わない～非常にそう思う）で回答し、それらを1～6点に換算して平均点を算出した。また、13ある小項目の各点数は以下の5つの大項目（人間性、専門性、協調性、創造性、自己研鑽）に集約して集計した。回答率は97.8%（2024年度）であった

「人間性」 4.81 : 1. 倫理観 (4.67)、2. 他者への共感 (5.00)、3. 他者への支援 (4.78)
「専門性」 4.81 : 4. 専門性への興味 (4.96)、5. 学びのつながり (4.67)、
「協調性」 5.04 : 6. 人とかかわる姿勢 (5.00)、7. 良好な関係作り (5.11)、8. 立場と責任の自覚 (5.00)
「創造性」 4.67 : 9. 探求心 (4.76)、10. 論理性 (4.60)、11. 創造性 (4.64)、
「自己研鑽」 4.70 : 12. 省察と課題の発見 (4.69)、13. 発展性と継続的な努力 (4.78)

上記の結果からみて、5項目のすべてにおいて中間点の3.0を約1.6～2.0ポイント上回っており、本専攻が求める学生が多く入学していることが伺われた。2022年度、2023年度と比較する（右図）と全体的にスコアはやや低下傾向にあるが、高いスコアは維持できている。

以上の結果より、2024年度の入学生においては、「入学者受入れの方針に照らした入学者選抜の取り組み」として適切であったと判断できる。創造性、自己研鑽のスコアが、人間性、専門性、協調性と比べてやや低いが、入学後の授業や演習、臨床実習等の学修を通じて、より学生が創造的に活動し、自己研鑽に励むことができる取り組みや学修環境を整えていくことが必要と考える。

